

NetVista Kiosk 4835-120
DBCS プリンター・フィーチャー



導入および操作ガイド補足資料

NetVista Kiosk 4835-120
DBCS プリンター・フィーチャー



導入および操作ガイド補足資料

本書をご使用になる前に、 *NetVista Kiosk Safety Information*、GA27-4294 をお読みください。

以下の用語は、IBM Corporation の商標です。

IBM、NetVista

Java は、Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標です。

Windows および Windows NT は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。 IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。 国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

本書には技術的な間違いや誤植を含む場合があります。 本書の内容は定期的に変更されます。 変更内容については、新たな刷を出版するときに改訂されます。 IBM は、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書に対するコメントは、下記のアドレスにお寄せください。

〒242-8502 神奈川県 大和市
下鶴間 1623-14
日本アイ・ビー・エム株式会社
大和事業所

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。 IBM 製品に関する技術情報は、IBM 認定再販売者または IBM 営業担当員 までお問い合わせください。

IBM Corporation 2001. All rights reserved.

本マニュアルに関するご意見やご感想は、次の URL からお送りください。今後の参考にさせていただきます。

<http://www.ibm.com/jp/manuals/main/mail.html>

なお、日本 IBM 発行のマニュアルはインターネット経由でもご購入いただけます。詳しくは

<http://www.ibm.com/jp/manuals/> の「ご注文について」をご覧ください。

(URL は、変更になる場合があります)

原 典： GA18-7755-00
NetVista Kiosk 4835-120 DBCS Printer Feature
Installation and Operation Guide Supplement

発 行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担 当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 2001.12

この文書では、平成明朝体™W3、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、平成角ゴシック体™W5、および平成角ゴシック体™W7を使用しています。この(書体*)は、(財)日本規格協会と使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

注* 平成明朝体™W3、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、
平成角ゴシック体™W5、平成角ゴシック体™W7

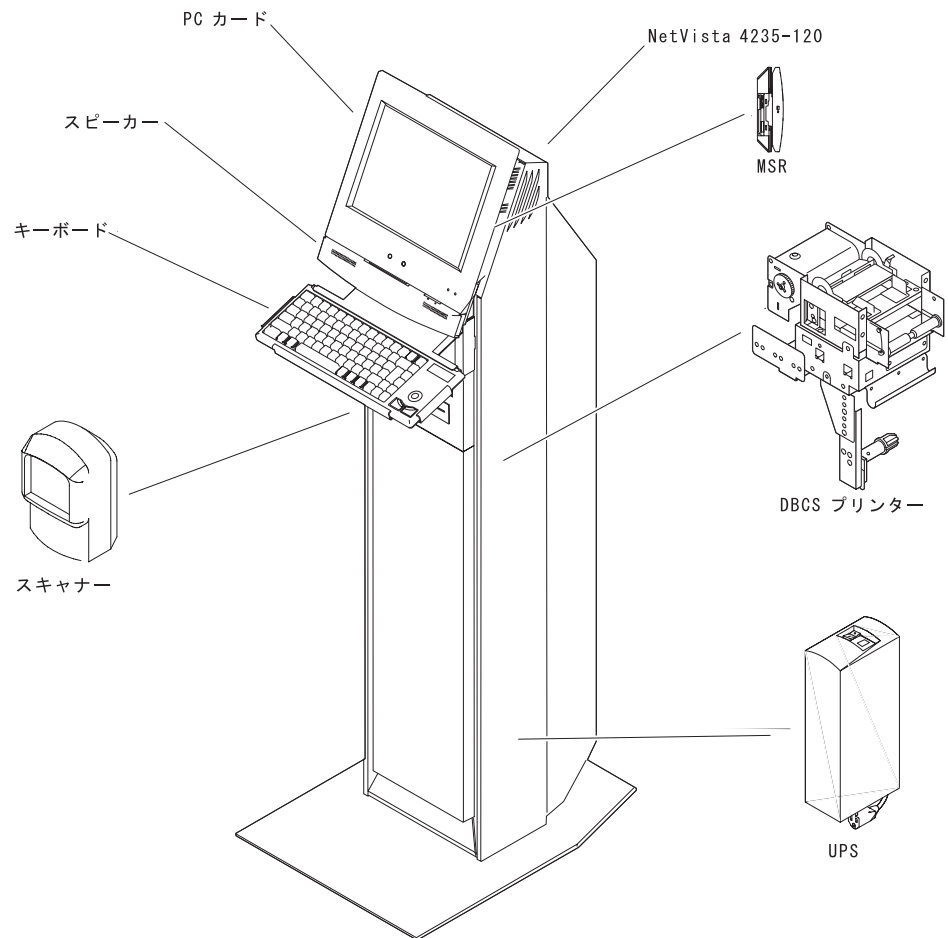
目次

NetVista Kiosk DBCS プリンター・フィーチャー	1
関連資料	1
機能の相違	2
物理的な相違	3
NetVista Kiosk の電源をオフにする	4
ロール紙の取り付け	5
現行のプリンター設定の変更	9
ソフトウェア DIP スイッチの設定値	12
UPS を取り付ける	16
プリンター・テストの印刷出力	19
トラブルシューティング	21
予備的なチェックリスト	21
LED を使用した問題の解決	22
診断	23
ロール紙の仕様	33
アプリケーションについての考慮事項	34
感熱ヘッドとプラテン・ロールのクリーニング	35

NetVista Kiosk DBCS プリンター・フィーチャー

本書は、NetVista™ Kiosk 4835 導入および操作ガイド、GA88-8234 の補足資料で、同モデルの 2 バイト文字セット (DBCS) プリンターのフィーチャーについて説明します。本書は、以下のフィーチャーに適用されます。

- F/C 4897 58 mm DBCS プリンター
- F/C 4898 80 mm DBCS プリンター
- F/C 4899 112 mm DBCS プリンター



関連資料

以下の IBM® 資料は、IBM ストア・ソリューションの Web サイトから入手できます。これらの資料にアクセスするには、以下のことを行います。

1. www.ibm.com/solutions/retail/store/ にアクセスします。
2. **Support**、次いで **Publications** を選択します。
 - *Safety Information -- Read This First*, GA27-4004
 - *NetVista Kiosk Safety Information -- Read This First*, GA27-4294
 - *NetVista Kiosk 4835 インストールおよび操作ガイド*, GA88-8234

- NetVista Kiosk 4835 システム・リファレンス、SA88-8235
- NetVista Kiosk 4835 ハードウェア保守ガイド、GY88-8014

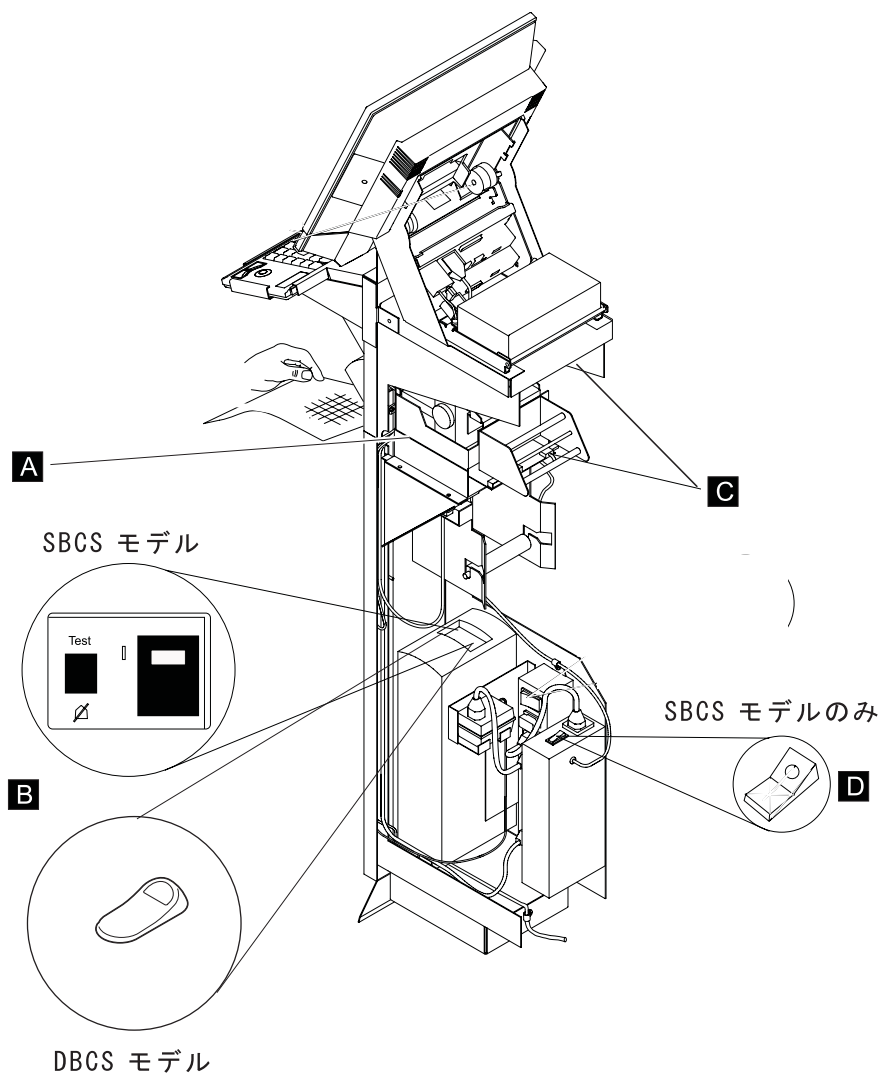
機能の相違

次の表に、1 バイト文字セット (SBCS) プリンター・フィーチャーのモデルと 2 バイト文字セット (DBCS) プリンター・フィーチャーのモデルの機能の違いを示します。

SBCS モデル	DBCS モデル	インストールおよび 操作ガイドの 参照ページ
選択可能な感熱紙幅: <ul style="list-style-type: none"> • 80 mm • 112 mm 	選択可能な感熱紙幅: <ul style="list-style-type: none"> • 58 mm • 80 mm • 112 mm 	3
サポートされているオペレーティング・システム: <ul style="list-style-type: none"> • Windows NT[®] 4.0 • Windows[®] 98 Second Edition • Windows 2000 	サポートされているオペレーティング・システム: <ul style="list-style-type: none"> • Windows 2000 	3, 36
サポートされているデバイス・ドライバ: <ul style="list-style-type: none"> • CDS • Windows 98 • Windows 2000 • Java[™] POS 	サポートされているデバイス・ドライバ: <ul style="list-style-type: none"> • Windows 2000/OPOS 	3
API <ul style="list-style-type: none"> • 直接のハードウェア • CDS ドライバ • Java POS 	API <ul style="list-style-type: none"> • 直接のハードウェア • POS (OPOS) 用 OLE 	4
プリンター・テストの印刷出力	プリンター・テストの印刷出力 (10 を参照)	54, 55
デフォルト・プリンターおよび 周辺パラメーター: <ul style="list-style-type: none"> • 56000 bps • 8 データ・ビット • パリティなし • 1 ストップ・ビット 	デフォルト・プリンターおよび 周辺パラメーター: <ul style="list-style-type: none"> • 38400 bps • 8 データ・ビット • パリティなし • 1 ストップ・ビット 	36, 54, 57

物理的な相違

次の図に、SBCS モデルと DBCS モデルの主な物理的な違いを示します。



ハードウェア	インストールおよび操作ガイドの参照ページ
A プリンター	1、14、17、28
B UPS スイッチ	1、17、28
C プリンター状況インディケータ	28
D プリンター電源スイッチ	17、28

NetVista Kiosk の電源をオフにする

NetVista Kiosk の各コンポーネントの電源をオフにするには、以下の電源オフ手順を使用してください。

1. 4835 システムの電源のオフにするには、紙クリップを使用して電源ボタンを押します。電源ボタンは、4835 ディスプレイの前面下端にあります。インストールおよび操作ガイド の 26 ページの図 20 を参照してください。
2. NetVista Kiosk エンクロージャーから外部 AC 電源ソケットに伸びている電源コードを外します。
3. エンクロージャーをアンロックして、エンクロージャーの前面を手前にスライドします。ハードウェア保守ガイド の 10 ページの『エンクロージャーを開く』を参照してください。
4. オプションの UPS の電源をオフにします (取り付けてある場合)。インストールおよび操作ガイド の 28 ページの図 22 の UPS 電源スイッチ **C** を参照してください。
5. 電源供給ストリップの電源をオフにします。
6. スキャナーの電源がオフになっていることを確認してください。

ロール紙の取り付け

重要:

1. この装置に触れる前に身体を接地してください。詳しくは、ハードウェア保守ガイドの 164 ページの『静電気の放電 (ESD)』を参照してください。

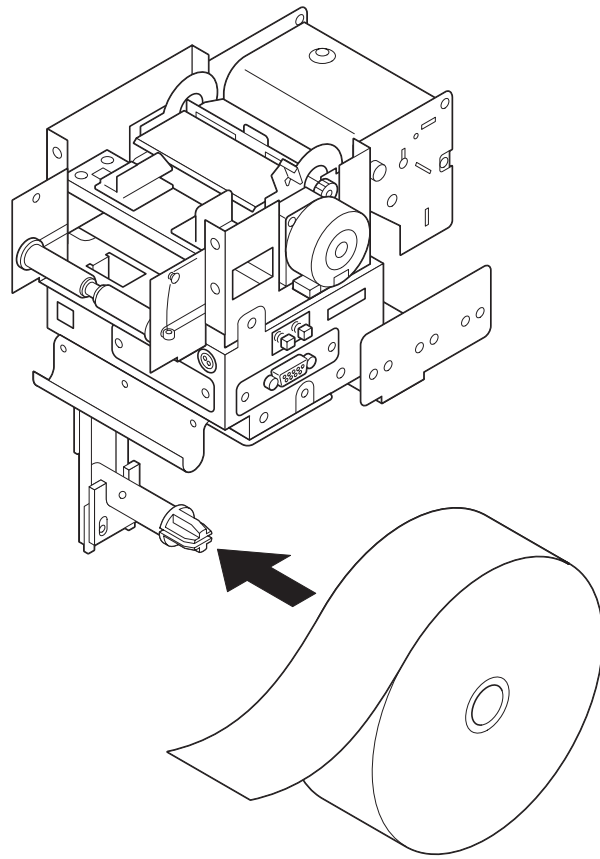


図 1. プリンター注意ラベル

2. 用紙先送りボタンあるいは電源ボタンを押すときには、ペーパー・カッターに指を近づけないでください。
3. システムの電源がオンになっていることを確認してから、ロール紙を取り付けます。詳しくは、4ページの『NetVista Kiosk の電源をオフにする』を参照してください。
4. この製品に指定されている品質以外の用紙を使用しないでください。低品質の用紙を使用すると、印刷品質、印刷ヘッドの寿命、およびプリンター機構に悪影響を及ぼすことがあります。NetVista Kiosk は、58 mm、80 mm、または 112 mm の感熱式プリンターをサポートします。

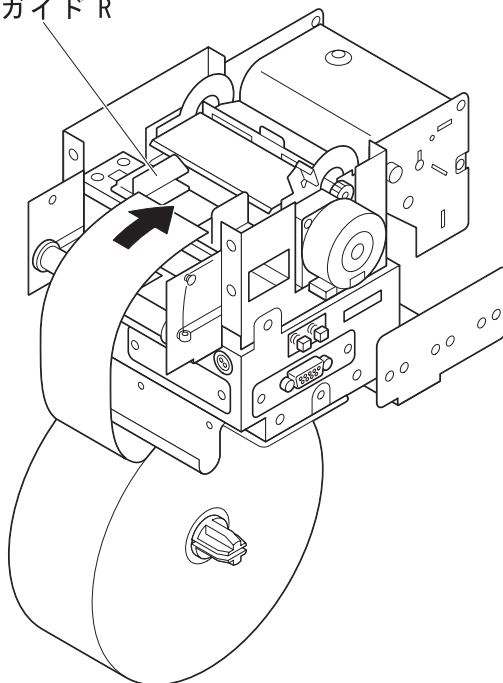
ロール紙の取り付けは、以下のように行います。

1. ロール紙の感熱側の面が上になるようにロール紙を持ちます。
2. ロール紙の芯を可動シャフトに位置合わせして、シャフトの奥までロール紙を挿入します。ロール紙を挿入したならば、次のことを確認します。
 - 可動シャフトの端が見える
 - ロール紙が正しく芯に位置合わせされている
 - ロール紙が滑らかに回転できる
3. 用紙の挿入方法を示すラベルを参照しながら、用紙の印刷面とテンション・ローラーのテンション面が接するように、ロール紙をテンション・ローラーの上にもってきます。

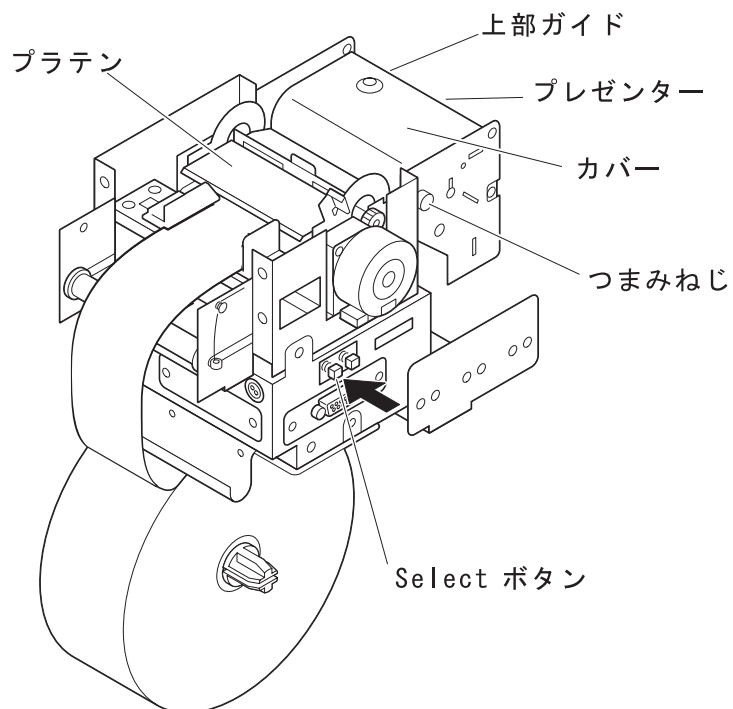


4. ロール紙をサイド・ガイド R のスリットに挿入します。用紙が自動的に 400 ドット行分 (約 50 mm) スリットの中にフィードされ、プリンターはオフライン状態になります。

サイド・ガイド R



5. Select ボタンを押して用紙を送り、プリンターをオンライン状態にします。



注: 自動ロードの場合、以下の状態のもとでは、用紙は自動的にプリンターにフィードされません。

1. プラテンが開いている。プラテンは必ず閉じてください。

2. プレゼンター上の上部ガイドが開いている。上部ガイドは必ず閉じてください。
3. プレゼンターの中に用紙が残っている。Feed ボタンを押して用紙を取り除いてください。あるいは、つまみねじを緩めて、カバーを開け、用紙を取り除いてください。
4. コマンドによって、用紙切れエラーが使用不可になっている。用紙をセットし直してください。

重要: 自動ロードの場合は、以下の諸点を守ってください。

1. 下図に示すように、フィード方向に対して角度が $60^\circ \sim 90^\circ$ になるように、用紙の端をカットします。

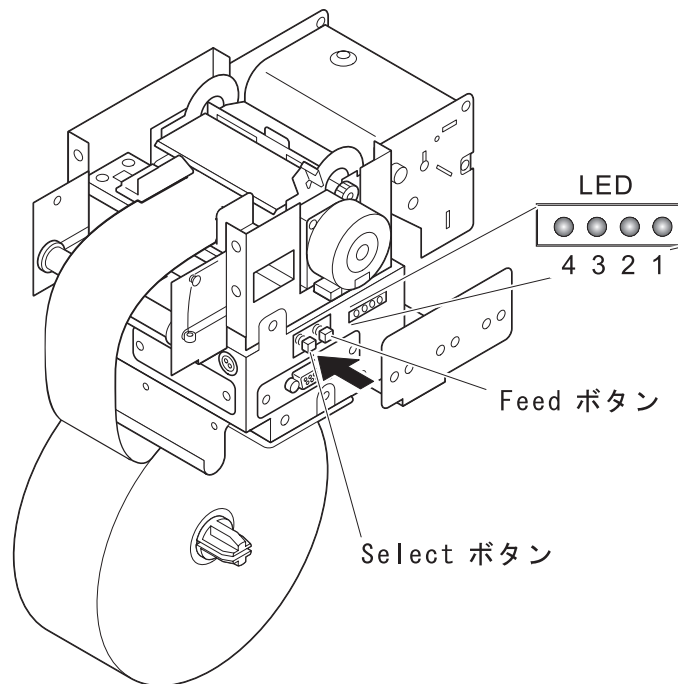


2. 用紙を挿入するとき、プラテンおよびプレゼンター上の上部ガイドが閉じていることを確認してください (プレゼンターが取り付けられている場合)。
3. 用紙がスキューしている場合は、プラテンを開けて用紙をまっすぐにセットしてください。
4. プリンター・ユニットのプラテンが閉じたままになっている場合は、感熱式印刷ヘッドがプラテンに接しているため、用紙の挿入ができなくなります。その場合は、プラテンを開けてから、用紙を挿入してください。

現行のプリンター設定の変更

デフォルトのプリンター設定をユーザーの望む設定に変更するには、以下のステップを実行します。

1. プリンターの電源をオフにします。
2. プレゼンターの上部ガイドを開けます。
3. プリンターの電源をオンにするときに Feed ボタンを押してホールドし、プリンターを Setting (設定) モードにします。



重要: Feed ボタンと Select ボタンの両方を押した場合は、プリンターの電源を切ってはなりません。そのような場合にプリンターの電源を切ると、ハードウェアが損傷することがあります。

Now Writing!

すると、デフォルトの設定値がロードされます。

- b. ソフトウェア DIP スイッチの設定値を別の値に変更するには、Feed ボタンを押して、No を選択します。DIP スイッチ 0 (SW0) の現行設定値が次のメッセージと一緒に印刷されます。

Change Setting?

Yes: Select SW / No: Feed SW

設定値を変更する場合は、Select ボタンを押し、ステップ 7 に進みます。

設定値を変更しない場合は、Feed ボタンを押し、ステップ 8 に進みます。

7. 次のメッセージが印刷されたらば、

Input 8 bits

1: Select SW / 0: Feed SW

ビット 1 (最上位ビット: MSB) からビット 8 (最下位ビット: LSB) までの 8 ビットすべてのソフトウェア DIP スイッチの設定値をセットしてください。

Select ボタンを押すとビットは "1" にセットされ、Feed ボタンを押すとビットは "0" にセットされます。

8 ビットすべての入力を終了すると、LED0 が明滅し始めます。設定値はプリンターに登録されます。

注: 変更するビットが 1 つだけの場合でも、8 ビットすべてに入力する必要があります。

8. ステップ 6b と 7 を繰り返して実行し、SW1、SW2、および SW3 のソフトウェア DIP スイッチの設定値をセットします。
9. 次のメッセージが印刷されたらば、

Save or Exit?

Save: Select SW / Exit: Feed SW

次のどちらかを実行します。

- a. Select ボタンを押して変更内容を保管します。次のメッセージが印刷されま

Now Writing!

- b. Feed ボタンを押して、変更内容を保管せずに、設定モードを終了します。次のメッセージが印刷されます。

Setting Not Changed

重要: LED が明滅している間は、プリンター・ユニットまたはキオスク・ユニットの電源をオフにはなりません。プリンターが変更内容をプリンターのメモリーに書き込んでいるからです。

ソフトウェア DIP スイッチの設定値

以下の表には、ソフトウェア DIP スイッチを使用してセットできる設定値を示します。

注:

1. 以下の表の中のアスタリスクはデフォルトの設定値を示します。
2. 変更してはならない項目を示します。

DIP SW0: 機械的な制御機能

ビット	設定項目	値	説明
1 (注 2)	ヘッド・ドライブ	0* 1	動的分割 固定分割
2-3 (注 2)	ドライブ速度 (58/80 mm の場合)	00* 10 01 11	動的分割: 128 ドット / 固定分割: 5 ブロック 動的分割: 192 ドット / 固定分割: 5 ブロック 動的分割: 256 ドット / 固定分割: 3 ブロック 動的分割: 320 ドット / 固定分割: 3 ブロック
2-3 (注 2)	ドライブ速度 (112 mm の場合)	00* 10 01 11	動的分割: 128 ドット / 固定分割: 5 ブロック 動的分割: 192 ドット / 固定分割: 5 ブロック 動的分割: 256 ドット / 固定分割: 3 ブロック 動的分割: 320 ドット / 固定分割: 3 ブロック
4 (注 2)	自動カッター	0 1*	使用不可 使用可能
5 (注 2)	プレゼンター	0 1*	使用不可 使用可能
6-8 (注 2)	文字フォント	000* 100 010 110 001 101 011 111	グラフィックス カタカナ 予約済み 予約済み 予約済み 予約済み 予約済み スペース

ヘッド・ドライブ:

変更しない。

ドライブ速度:

変更しない。

自動カッター:

変更しない。

プレゼンター:

変更しない。

文字フォント:

変更しない。

DIP SW1: 印刷制御機能

ビット	設定項目	値	説明
1 (注 2)	用紙の排出	0 1*	下部 上部
2 ~ 4	印刷密度	000 100 010 110* 100 101 011 111	70% 80% 90% 100% 110% 120% 130% 140%
5	印刷速度	0* 1	高 低
6 (注 2)	フォント・タイプ	0* 1	標準 ゴシック
7	ドライバー	0* 1	他 IBM
8 (注 2)	I/O リセット	0 1	使用不可 使用可能

用紙の排出:

変更しない。

印刷密度:

印刷密度をさまざまなトーンに変更する。デフォルトは **110** (通常密度) にセットされている。

印刷速度:

高品質の印刷出力を得るには「低」を指定する。デフォルトの設定値「高」をお勧めします。

フォント・タイプ:

変更しない。

ドライバー:

プリンター・ドライバーを指定するために使用する。Windows 2000 プリンター・ドライバーを使用するには、**1** を指定する。

I/O リセット:

変更しない。

DIP SW2: 用紙の設定値

ビット	設定項目	値	説明
1 ~ 3 (注 2)	用紙幅 (58/80 mm の場合)	000*	58 mm
		100	60 mm
		010	66 mm
		110	76.2 mm
		001*	80 mm
		101	82.55 mm
		011	予約済み
		111	予約済み
1 ~ 3	用紙幅 (112 mm の場合)	000	58 mm
		100	60 mm
		010	66 mm
		110	76.2 mm
		001	80 mm
		101	82.55 mm
		011*	112 mm
		111	予約済み
4 ~ 6	用紙タイプ (58/80 mm の場合)	000*	TF50KS-E2C
		100	AFP235
		010	PD160R-N
		110	TO-38IN
		001	TC98KS-T1
		101	TC11KS-T1
		011	TL69KS-HG76
		111	予約済み
4 ~ 6	用紙タイプ (112 mm の場合)	000*	TF50KS-E2C
		100	AFP235
		010	PD160R-N
		110	TO-38IN (オプション)
		001	TC98KS-T1
		101	TC11KS-T1
		011	TL69KS-HG76
		111	予約済み
7	用紙マーク	0*	マークなし
		1	マークあり
8	予約済み		

用紙幅:

用紙幅は出荷時に 58mm、80mm、112mm のいずれかに設定してあります。

用紙タイプ:

用紙タイプを指定する。プリンターに合う用紙タイプを選択する。

用紙マーク:

マーク付き用紙を使用するかどうかを指定する。

DIP SW3: 通信の設定値

シリアル・インターフェース付きのキオスク

ビット	設定項目	値	説明
1 (注 2)	使用中状態	0* 1	フル フル / オフライン
2 ~ 3	通信速度	00* 10 01 11	38400 bps 19200 bps 9600 bps 4800 bps
4 (注 2)	ビット長さ	0 1*	7 ビット 8 ビット
5 ~ 6	パリティ	00* 10 01 11	なし 奇数 なし 偶数
7 (注 2)	ストップ・ビット	0 1*	2 ビット 1 ビット
8	データ制御	0 1*	XON/XOFF 使用中

使用中状態:

変更しない。

通信速度:

使用する通信速度を指定する。

ビット長さ:

変更しない。

パリティ:

パリティ・ビットを使用するか否か、および、パリティのタイプを指定する。

ストップ・ビット:

変更しない。

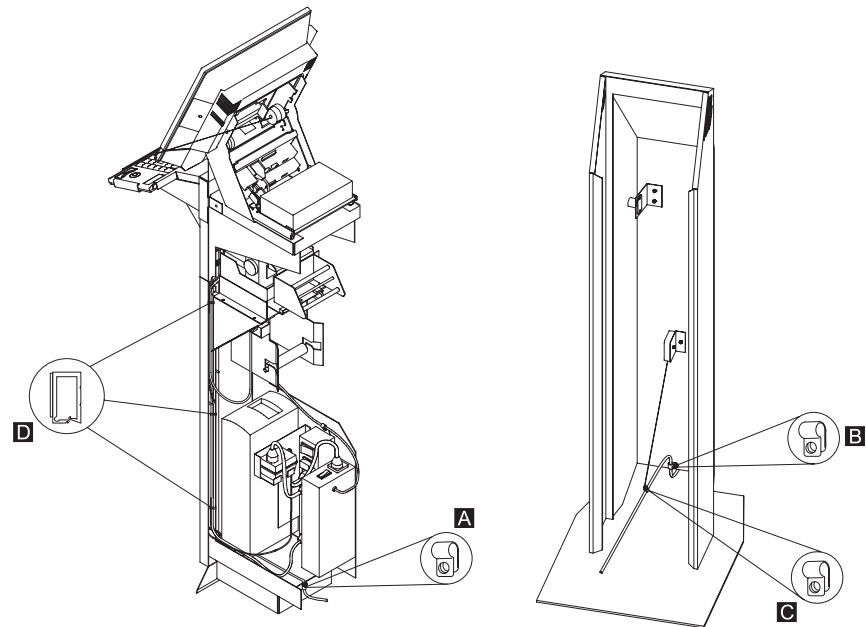
データ制御:

使用するデータ制御のタイプを指定する。

UPS を取り付ける

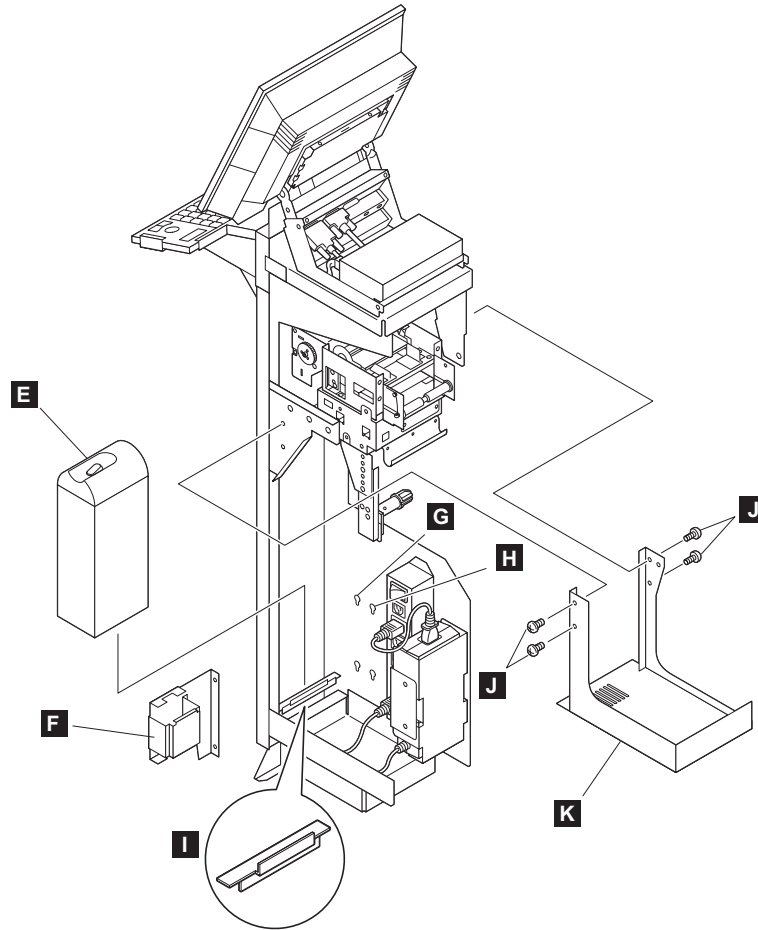
以下のステップを実行して、UPS を取り付けてください。

1. NetVista Kiosk の電源をオフにします。4ページの『NetVista Kiosk の電源をオフにする』を参照してください。4835、プリンター、スキャナー、電源供給スイッチ、および UPS の電源がオフになっていることを確認してください。
2. キオスクのエンクロージャーに延びている電源コードを外部電源ソケットから外してください。
3. 4つのねじ **J** および排出用紙トレイ **K** を外してください。
4. 3つの UPS 電源コードのケーブル・リテーナー **A**、**B**、および **C** を切り離してください。



5. UPS RS-232 インターフェース・ケーブルをケーブル・クランプ **D** から放してください。
6. UPS に行っている電源供給ストリップの電源コードを外してください。

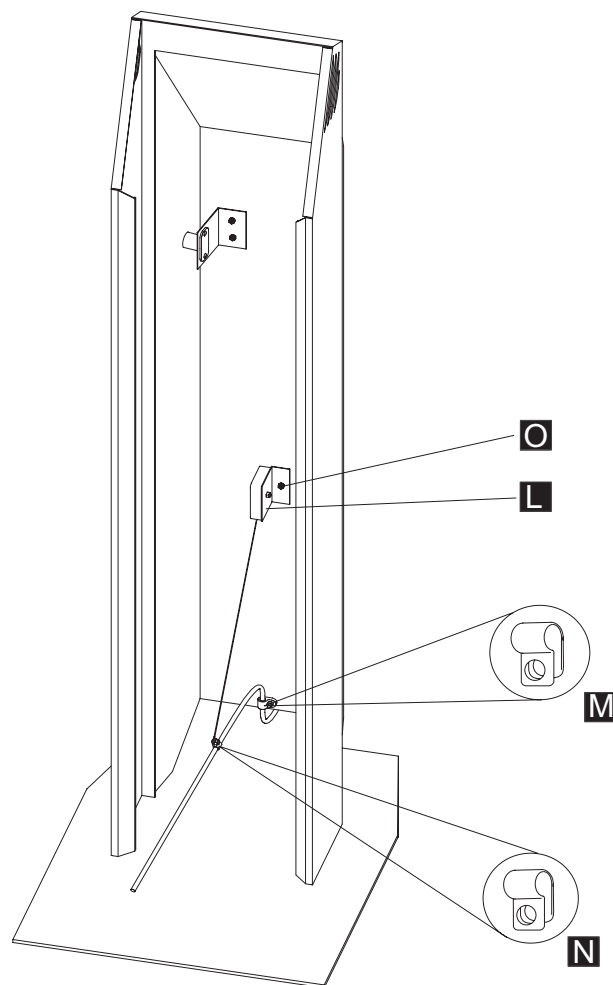
7. UPS ブラケット **F** を取り外します。
 - a. 2 つのねじ **G** (BK500 シリーズ UPS 用) または **H** (BK650 UPS 用) を緩めます。
 - b. UPS ブラケット **F** を持ち上げて、メタル・サポートの 2 つのかぎ穴から外します。



8. UPS に、以下のケーブルを接続します。
 - a. UPS 背面パネルに RS-232 インターフェース・ケーブルを接続します。

注: NetVista Kiosk は、この接続を使用して、バックアップ・バッテリーの寿命をモニターできます。
 - b. UPS 背面の黒色のコンセントに、電源供給ストリップの電源コードを接続します。
9. UPS 電源ケーブルをエンクロージャーの背面またはフロア・マウント・プレートから引き出して、適切な AC 電源コンセントに接続します。
10. UPS のケーブルの末端を下にして、UPS の足をエンクロージャー内側の壁面に向けて、UPS **E** をエンクロージャーの前面に差し込みます。エンクロージャーの前面下端の近くにあるメタル・サポート **I** に UPS を降ろします。14 ページを参照してください。
11. UPS ブラケット **F** を再び取り付け、2 本のねじで固定します。

12. 排出用紙トレイ **K** を再び取り付けて、4 つのねじ **J** で固定します。

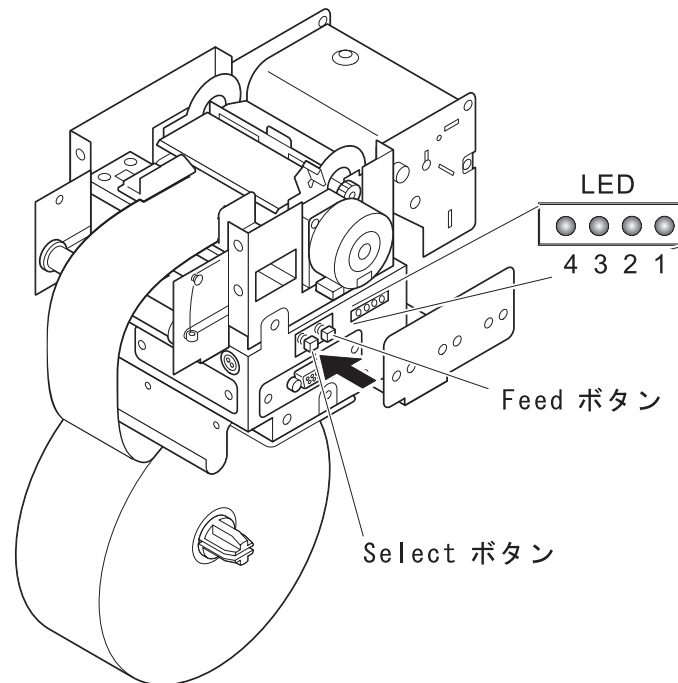


13. 上の図を参照してください。次のように、UPS 電源コードをケーブル・リテーナーに固定します。
- エンクロージャーの内側背面にある巻き取りスプール **L** の位置を確認してください。巻き取りスプール・ケーブルの端に付けられているケーブル・リテーナー **N** を使用して、巻き取りスプールを UPS 電源コードに接続します。
 - エンクロージャーの底面に付けられているケーブル・リテーナー **M** の位置を確認してください。このケーブル・リテーナーを UPS 電源コードに取り付けます。
14. ケーブル・クランプを使用して、UPS RS-232 インターフェース・ケーブルを配線し、固定します。ケーブル・クランプの位置については、16 ページの図の **D** を参照してください。
15. NetVista Kiosk 4835 の背面テールゲート・コネクタにケーブルを接続します。

プリンター・テストの印刷出力

プリンターは機能設定やキャラクタを印字するテスト印字機能を持っています。印刷出力をとるには、プリンターの電源をオンにするときに、Feed ボタンを押したままホールドします。

次の図は、プリンターのテストで使用するボタンと LED の位置を示します。



トラブルシューティング

このセクションでは、DBCS プリンターの問題の解決方法について説明します。このセクションは、インストールおよび操作ガイドの『トラブルシューティング』の章と一緒に使用してください。

問題の解決は、次のように行います。

1. 『予備的なチェックリスト』に進み、そのステップを実行します。まだ問題が解決できない場合は、次に、
2. 22ページの『LED を使用した問題の解決』に進み、そこで問題を解決してみてください。まだ問題が解決できない場合は、次に、
3. 23ページの『診断』に進み、そこで問題を解決してみてください。

予備的なチェックリスト

NetVista Kiosk の電源をオンにすると、NetVista Kiosk は電源オン自己テスト (POST) を実行します。システムは 1 回のピープ音で POST が正常終了したことを知らせます。スキャナーは、パワーオンするときに、4 回ピープ音を出します。システムがエラー・メッセージを表示するか複数回ピープ音を出した場合は、ハードウェア保守ガイドの 42 ページの『POST エラー・コード』または 46 ページの『POST ビープ音のコード』を参照してください。

そうでない場合は、問題を診断するために、以下のステップを実行してください。

1. キオスク・エンクロージャー内部の電源ストリップが UPS に接続されており、電源がオンになっていることを確認します。
2. ユニットが AC 電源ソケットに接続されており、すべての電源ライトがオンになっていることを確認します。
3. すべてのケーブルと入出力装置が正しく、しっかりと接続されていることを確認します。
4. コントラストと輝度の制御機構が正しくセットされていることを確認します。ディスプレイの下部右方にあるこれらの制御機構を、ピンを使用して調整します。
5. 後でトラブルシューティングを行うための、すべてのエラー・メッセージと症状を記録します。

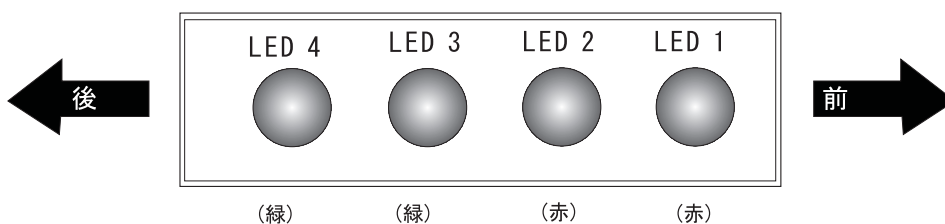
特定のエラー表示がない場合は、22ページの『LED を使用した問題の解決』にある問題解決手順に進んでください。

注:

1. 内部オプション関連の問題または周辺装置関連の問題の場合は、サービス・ディスクレットを使用することができます。インストールおよび操作ガイドの x ページの『サービス・ディスクレット、デバイス・ドライバー、および診断情報』を参照してください。
2. システムに接続する装置には、テスト手順書が付いているものがあります。これらの装置をテストするときには、その手順を参照してください。
3. 特定のアプリケーションを使用している場合は、アプリケーション固有のエラー・メッセージが表示される場合があります。その場合は、ソフトウェアと一緒に提供されているソフトウェア・マニュアルを参照してください。

LED を使用した問題の解決

このセクションでは、LED を使用した、プリンターの操作上の問題の解決方法、および、プリンターのハードウェア障害の診断方法について説明します。



プリンター状況		エラー・リカバリー	LED4 (緑色)	LED3 (緑色)	LED2 (赤色)	LED1 (赤色)
電源オフ			オフ	オフ	オフ	オフ
初期化		1	オン	オン	オン	オン
ハードウェア・エラー		2	明滅	明滅	明滅	明滅
オンライン	用紙: あり	通常動作	オン	オン	オフ	オフ
	終端が近い	12	オン	オン	明滅	オフ
オフライン	用紙: あり	3	オン	オフ	オフ	オフ
	終端が近い	3、12	オン	オフ	明滅	オフ
ヘッド温度エラー		4	オン	明滅	オフ	オン
モーター温度エラー		5				
プレゼンター内に用紙がある		6				
プラテンが開いている		7	オン	オフ	オフ	オン
カッター・エラー		8				
プレゼンター上の上部ガイドのエラー		9				
プレゼンターの紙づまりエラー		10				
用紙切れ		11	オン	オフ	オン	オン

対応するエラー・リカバリー番号に進み、説明されているリカバリー方式を実行してください。

番号	説明	リカバリー方式
1	初期化	初期化プロセス中。 プリンター・ユニットは、電源オンおよびリセットの直後に初期化を開始する。 初期化が終了すると、オンライン状態になる。 初期化中にエラーが発生すると、プリンター・ユニットはハードウェア・エラーになる。
2	ハードウェア・エラー	プリンター機構またはボード (またはその両方) が異常。 リカバリー不能。分析または修理を依頼する。
3	オフライン	Select ボタンを押して、エラーを取り除いた後で、プリンター・ユニットがオフライン状態になる。 Select ボタンを押す。

4	ヘッド温度エラー	ヘッドの温度が -10°C より低い、80°C より高い。 ヘッドの温度が -5°C ~ 75°C のときに、プリンター・ユニットはオフライン状態になる。
5	モーター温度エラー	モーターが 10 分を超えて稼働すると、プリンター・エラーが起こる。 プリンター操作をしばらくの間停止すると、オンライン状態になる。
6	プレゼンター内に用紙がある	プレゼンターの中に用紙がある。 プレゼンターから用紙が取り除かれると、プリンターはオンライン状態になる。
7	プラテンがアップ	プラテンがアップ位置にある。 プラテンを下げる。プリンターは即時にオンライン状態になる。
8	カッター・エラー	カッター・ユニットにエラーが発生。 電源をオフにして、カッター・ユニットにからまっている用紙を取り除く。電源をオンにすると、プリンターはオンラインに状態になる。
9	プレゼンター上の上部ガイドのエラー	プレゼンター・ユニットの上部ガイドが開いている。 プレゼンター・ユニットの上部ガイドを閉じる。上部ガイドが閉じると、プリンター・ユニットはオフライン状態になる。
10	プレゼンターの紙づまりエラー	プレゼンターの中に用紙がつまっている。 プレゼンターの上部ガイドを開けて、用紙をすべて取り除く。 上部ガイドが閉じると、プリンター・ユニットはオフライン状態になる。
11	用紙切れエラー	用紙切れ。 用紙をセットする。用紙がセットされると、プリンターはオフライン状態になる。
12	終端が近い	用紙がなくなる。ロール紙をセットする。

診断

このセクションでは、プリンター・エラーの症状、考えられる原因、および、必要な訂正処置をリストします。

	エラーの症状	参照ページ
1	電源がオフ。	25
2	電源はオンになっているが、機能が使用不可になっている。	25
3	プリンター・ユニットのモーターが回転しない。	25
4	プレゼンターのモーターが回転しない。	26
5	用紙がプレゼンターからフィードされて出てこない。	27
6	カッター・ユニットが作動しない。	27
7	「プラテンが開いている」が検出された。	28
8	「上部ガイドが開いている」が検出された。	28
9	「用紙切れ」が検出されない。	28
10	「マーク位置」が検出されない。	29
11	終端が近いままの状態。	29

12	印刷ドットが欠落する。	29
13	印刷密度が正しくない。	30
14	用紙送りピッチにむらがある。	31
15	異常な音が出る。	32
16	伝導が実行されない。	32

1. 電源がオフ。

症状: 電力はプリンター・ユニットに供給されているが、プリンター・ユニットは開始せず、LED もオンにならない。

考えられる原因	チェックポイントとメソッド	評価基準および規格	訂正処置
欠陥ボード・フレーム・ユニット	--	短絡	プリンター・ユニットを取り替える。
コネクターの接触が不完全	テスターで電源機構の出力電圧を測る。	24V±5%	
Vcc 回路の障害	ボード上の IC の Vcc と GND の間の電圧を測る。	5V±5%	

症状: 電力はプリンター・ユニットに供給されており、プリンター・ユニットは開始するが、LED がオンにならない。

考えられる原因	チェックポイントとメソッド	評価基準および規格	訂正処置
欠陥ボード・フレーム・ユニット	--	短絡	プリンター・ユニットを取り替える。

2. 電源はオンになっているが、機能が使用不可になっている。

症状: LED 1 ~ 4 がオンになったまま。

考えられる原因	チェックポイントとメソッド	評価基準および規格	訂正処置
欠陥ボード・フレーム・ユニット	--	--	プリンター・ユニットを取り替える。

症状: LED 1 ~ 3 が明滅し続ける。

考えられる原因	チェックポイントとメソッド	評価基準および規格	訂正処置
コネクターの接触が不完全	テスターで電源機構の出力電圧を測る。	24 V±5%	電源装置を取り替える。
プリンター・ユニットの抵抗が誤り	--	--	プリンター・ユニットを取り替える。
欠陥ボード・フレーム・ユニット	--	--	

3. プリンター・ユニットのモーターが作動しない。

症状: Feed ボタンが押されたが、モーターが作動しない。

考えられる原因	チェックポイントとメソッド	評価基準および規格	訂正処置
モーターのコネクタの接触が不完全	コネクタを視覚検査する。	--	コネクタを正しく挿入しなおす。
プラテン・オープンのセンサーが故障	テスターでプラテン・センサーの継続性を検査する。	短絡	プリンター・ユニットを取り替える。
Feed ボタンに欠陥	テスターで Feed ボタンの継続性を検査する。	短絡	
モーターのリード線の切断または欠陥モーター	ボード・フレーム・ユニット上の CN301 に対応するプリンター・ユニット内のコネクタを取り外す。次に、テスターで、ピン 1 と 3 の間、および、ピン 2 と 4 の間の抵抗を測る。	7.0±0.77Ω	
異常なモーター・ドライブ回路	オシロスコープでモーターの位相およびアース電圧を測る。	パルス波形 (波高: 約 24V)	

4. プレゼンターのモーターが作動しない。

症状: Feed ボタンが押されたが、モーターが作動しない。

考えられる原因	チェックポイントとメソッド	評価基準および規格	訂正処置
上部ガイドが開いている	プレゼンターを上部ガイドに保持しているねじが固く締められていることを確認する。	--	ねじを固く締める。
モーターのコネクタの接触が不完全	コネクタを視覚検査する。	--	コネクタを正しく挿入しなおす。

上部ガイドのスイッチに欠陥	テスターで上部ガイドのスイッチの継続性を検査する。	短絡	プリンター・ユニットを取り替える。
モーターのリード線の切断または欠陥モーター	ボード・フレーム・ユニット上のCN501に対応するプレゼンター内のコネクタを取り外す。次に、テスターで、ピン1と3の間、および、ピン2と4の間の抵抗を測る。	40±4.4Ω	
異常なモーター・ドライブ回路	オシロスコープでモーターの位相およびアース電圧を測る。	パルス波形 (波高: 約 24V)	

5. 用紙がプレゼンターからフィードされて出てこない。

症状: 印刷中、または、用紙がプレゼンターから出てくるときにエラーが起る。

考えられる原因	チェックポイントとメソッド	評価基準および規格	訂正処置
プレゼンターのコネクタの接触が不完全	コネクタを視覚検査する	--	コネクタを正しく挿入しなおす。
プレゼンター・センサーに欠陥	接続ポイントの電圧を測る。	用紙あり: 4.0±1.0V 用紙なし: 0.2±0.2V	プリンターを取り替える。
欠陥ボード・フレーム・ユニット	--	--	

6. カッターが作動しない。

症状: カッターがテスト印刷中に作動しない。

考えられる原因	チェックポイントとメソッド	評価基準および規格	訂正処置
カッターのコネクタの接触が不完全	コネクタを視覚検査する	--	コネクタを正しく挿入しなおす。
カッターに損傷	--	--	プリンターを取り替える。
欠陥ボード・フレーム・ユニット	--	--	

7. プラテンが開いている状態が検出されない。

症状: プラテンが開いている状態がセンサーによって検出されず、プリンター・ユニットがオフライン状態にならない。

考えられる原因	チェックポイントとメソッド	評価基準および規格	訂正処置
プラテン・スイッチがオープン	テスターでプラテン・スイッチの継続性を検査する。	プラテンがオープン: オープン	プリンター・ユニットを取り替える。
欠陥ボード・フレーム・ユニット	--	--	

8. 上部ガイドが開いている状態が検出されない。

症状: 上部ガイドが開いているのに、プリンター・ユニットがオフライン状態にならない。

考えられる原因	チェックポイントとメソッド	評価基準および規格	訂正処置
上部ガイドのスイッチに欠陥	テスターで上部ガイドの継続性を検査する。	上部ガイドがオープン: オープン	プリンター・ユニットを取り替える。
欠陥フレーム・ユニット	--	--	

9. 用紙切れ状態が検出されない。

症状: 用紙切れ状態であるにもかかわらず、プリンター・ユニットがオフライン状態にならない。

考えられる原因	チェックポイントとメソッド	評価基準および規格	訂正処置
用紙検出機能のコネクターの接触が不完全	コネクターを視覚検査する	--	コネクターを正しく挿入しなおす。
用紙検出機能に欠陥	接続ポイントの電圧を測る。	用紙あり: 4.0±1.0V 用紙なし: 0.2±0.2V	プリンター・ユニットを取り替える。
オプション・センサーのコネクターの接触が不完全	コネクターを視覚検査する。	--	コネクターを正しく挿入しなおす。
オプション・センサーに欠陥	接続ポイントの電圧を測る。	用紙あり: 4.0±1.0V 用紙なし: 0.2±0.2V	プリンター・ユニットを取り替える。
欠陥ボード・フレーム・ユニット	--	--	

10. マークされた位置が検出されない。

症状: プリンター・ユニットがマークされた位置で停止しない。

考えられる原因	チェックポイントとメソッド	評価基準および規格	訂正処置
オプション・センサーのコネクターの接触が不完全	コネクタを視覚検査する	--	コネクタを正しく挿入しなおす。
オプション・センサーに欠陥	接続ポイントの電圧を測る。	用紙あり: 4.0±1.0V 用紙なし: 0.2±0.2V	プリンター・ユニットを取り替える。
損傷ボード・フレーム・ユニット	--	--	

11. プリンター・ユニットが用紙切れで終端に近い状態を続ける。

症状: ロール紙が十分あるにもかかわらず、LED2 が明滅する。

考えられる原因	チェックポイントとメソッド	評価基準および規格	訂正処置
ロール紙ホルダーの用紙幅設定が正しくない	ロール紙ホルダーの用紙幅設定を視覚検査する。	--	ロール紙ホルダーの用紙幅設定をロール紙に一致させる。
近端センサーのコネクターの接触が不完全	コネクタを視覚検査する。	--	コネクタを正しく挿入しなおす。
近端センサーに欠陥	接続ポイントの電圧を測る。	用紙あり: 4.0±1.0V 用紙なし: 0.2±0.2V	プリンター・ユニットを取り替える。
損傷ボード・フレーム・ユニット	--	--	

12. 印刷ドットが欠落する。

症状: 印刷されないドットがある。

考えられる原因	チェックポイントとメソッド	評価基準および規格	訂正処置
感熱ヘッド上に異物が付着	感熱ヘッド表面に異物があるかどうかを視覚検査で調べる。	--	少量のエチル・アルコールで湿らせた綿棒で異物を取り除く。
欠陥感熱ヘッド	テスト印刷を行って、すべてのドットが印刷されているか視覚検査する。	--	問題が引き続き起こる場合は、プリンター・ユニットを取り替える。

13. 印刷密度が正しくない。

症状: すべてのドットが薄いかぼける。

考えられる原因	チェックポイントとメソッド	評価基準および規格	訂正処置
感熱ヘッド上に異物が付着	感熱ヘッド表面に異物があるかどうかを視覚検査で調べる。	--	少量のエチル・アルコールで湿らせた綿棒で異物を取り除く。
感熱ヘッドの高抵抗によるヘッド・ブロックの欠陥	--	--	プリンター・ユニットを取り替える。

症状: 薄いかぼけるドットがある。

考えられる原因	チェックポイントとメソッド	評価基準および規格	訂正処置
プラテンの表面に損傷またはくぼみがあるか、感熱ヘッドに異物がある	プラテンの表面を視覚検査する。	--	プラテンが損傷しているかくぼみがある場合は、プリンター・ユニットを取り替える。異物が付着している場合は、取り除く。
感熱ヘッドのコネクターの接触が不完全	接続を視覚検査する。	--	コネクターを正しく挿入しなおす。
感熱ヘッド上に異物が付着	感熱ヘッド表面に異物があるかどうかを視覚検査で調べる。	--	少量のエチル・アルコールで湿らせた綿棒で異物を取り除く。

症状: 印刷出力全体が濃い。

考えられる原因	チェックポイントとメソッド	評価基準および規格	訂正処置
欠陥サーミスター	ボード・フレーム・ユニット CN403 に対応するヘッド内のコネクターを取り外し、ヘッド・コネクターの 6 番目と 7 番目の間の抵抗を測る。	約 30Ω(25°C) (温度によって変わる)	プリンター・ユニットを取り替える。
用紙のセットが正しくない	テスト・パターンを印刷する。	--	機能設定の中に用紙を正しくセットする。

症状: 印刷密度にむらがある。

考えられる原因	チェックポイントとメソッド	評価基準および規格	訂正処置
プラテンの表面に損傷またはくぼみがあるか、異物があるか、あるいは、プラテンに欠陥	プラテンの表面を視覚検査する。	--	プラテンが損傷しているか、くぼみがある場合は、プラテン・ブロックを取り替える。 プラテンに異物が付着している場合は、取り除く。

14. 用紙送りピッチにむらがある。

症状: 用紙送りが正しく実行されない。

考えられる原因	チェックポイントとメソッド	評価基準および規格	訂正処置
モーターのリード線の破損または欠陥モーター	ボード・フレーム・ユニット CN301 に対応するプリンター・ユニット内のコネクタを取り外し、テスターで、プリンター・ユニットのコネクタ・ピン 1 と 3 の間、および、2 と 4 の間の抵抗を測る。	7.0±0.77Ω	プリンター・ユニットを取り替える。
異常なモーター・ドライブ電圧	オシロスコープでモーターの位相およびアース電圧を測る。	パルス波形 (波高: 約 24V)	
損傷したモーター・ギアまたは異物。	損傷したモーター・ギアまたは異物があるか視覚検査で調べる。	--	ギアに異物が付着している場合は、取り除く。あるいは、プリンター・ユニットを取り外す。
用紙送り中の過剰負荷	用紙のセットを視覚検査する。	--	用紙を正しくセットし直す。

15. 異常な音

症状: 用紙送り中に、プリンター・ユニットまたはプレゼンター・ユニットの中で異常な音が聞こえる。

考えられる原因	チェックポイントとメソッド	評価基準および規格	訂正処置
損傷したモーター・ギアまたは異物	損傷したモーター・ギアまたは異物があるか視覚検査で調べる。	--	プリンター・ユニットを取り替える。
欠陥モーター	用紙をセットしてフィードし、モーターの音をチェックする。	--	

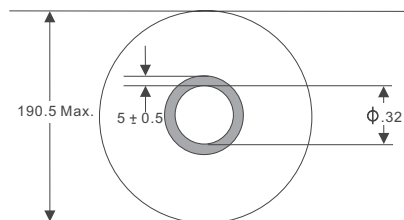
16. 伝導が実行されない。

症状: 伝導が選択されない。

考えられる原因	チェックポイントとメソッド	評価基準および規格	訂正処置
欠陥ボード・フレーム・ユニット	--	--	プリンター・ユニットを取り替える。

ロール紙の仕様

用紙幅:	58 mm + 0 - 1 mm
	80 mm + 0 - 1 mm
	112 mm + 0 - 1 mm
直径	190.5 mm (最大)
芯の半径	32 mm ± 0.3 mm
芯の厚さ	5 mm ± 0.5 mm
芯の材質	クラフト紙



このプリンターには、以下のタイプの感熱ロール紙をご使用になることをお勧めします。

- TF50KS-E2C: 66 μm (日本製紙株式会社)
- AFP235: 65 μm (三菱製紙株式会社)
- PD160R-N: 75 μm (王子製紙株式会社)
- TC98KS-T1: 125 μm (日本製紙株式会社)
- TC11KS-T1: 145 μm (日本製紙株式会社)

アプリケーションについての考慮事項

継続的にプリンターを操作するためには、アプリケーションで生成されるスリップは一定の長さ以内でなければなりません。お勧めするスリップの長さを以下に示します。

長さ	説明
最短: 150 mm	プレゼンターが正しく機能するために必要な最小の長さです。
通常: 300 mm	収納できる用紙数は、ロール紙の直径に依存します。
最長: 500 mm	スリップがこの長さを超えると、プレゼンターでカットされたあと用紙がフロアに落ちるか、あるいは、用紙トレイの中で用紙がジャムする可能性があります。

スリップの生成には、以下の印刷操作が必要です。

1. ロール紙上に印刷する。
2. 用紙をカットする。
3. プレゼンターで用紙をフィードする。
4. ユーザーが用紙を収集しない場合は、用紙を用紙トレイの中に集める。

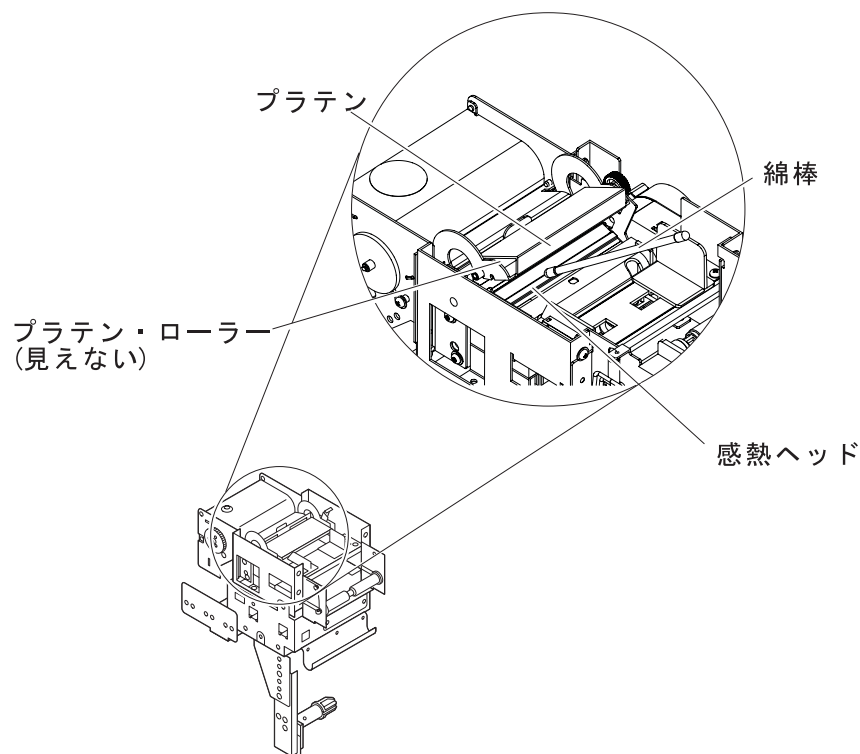
感熱ヘッドとプラテン・ロールのクリーニング

高い印刷品質を得るには、感熱ヘッドとプラテン・ロールに累積する紙ほこりを定期的にクリーニングする必要があります。クリーニングするときは、以下のことに注意してください。

- 印刷直後はまだ熱いので、感熱ヘッドをクリーニングしないでください。熱が冷めるまで待ってください。
- エチル・アルコール (99% 超) およびイソプロピル・アルコール (99% 超) などの溶剤を使用してください。
- サンド・ペーパーおよびカッター・ナイフなどはプラテン・ローラーを損傷するので、クリーニングに使用しないでください。
- アルコールが蒸発したあとで、印刷を開始してください。

感熱ヘッドとプラテン・ロールをクリーニングするときは、以下の手順で行ってください。

1. NetVista の電源をオフにしてから、電源コードを電源プラグから抜いてください。
2. プラテンを開けます。
3. 数滴のエチル・アルコールをプラテン・ローラーの表面に落とし、その表面と感熱ヘッドを綿棒でふいてください。エチル・アルコールをプリンターの他の部分に落とさないように注意してください。
4. プラテンを閉じる前に、エチル・アルコールが完全に蒸発していることを確認してください。





部品番号: 57P4511

Printed in Japan

GA88-8271-00



日本アイ・ビー・エム株式会社
〒106-8711 東京都港区六本木3-2-12

(1P) P/N: 57P4511

